

空知産炭地域総合発展基金について

1 「空知産炭地域総合発展基金」の運用に係る長期借入金問題について、

ただいまご説明にありましたように、昨日、上砂川町が臨時議会において、長期借入金の一括償還の議決をおこなったところであり、また、歌志内市においては、明日、臨時議会が開催され、同様の議決がおこなわれる見込みであり、これらによりまして、空知5市1町全てが一括償還を行うこととなったところであります。これらのことを踏まえ以下、数点にわたり質問して参ります。

まず、はじめに、歌志内市及び上砂川町については、償還財源を確保するため、市や町の施設を活用したプロジェクトが検討されてきているところですが、現在の検討状況について伺います。

(答 弁) 坂口 収 産業立地局長

旧基金を活用したプロジェクト事業などについてであります。○ 現在、歌志内市及び上砂川町におきましては、市や町が所有する既存の施設を効果的に活用したプロジェクト事業を含め、さまざまな事業について検討をしているところ。○ 道としても、事業の必要性、規模や事業費の妥当性などについて市や町と協議を進めており、事業の目的や事業主体など、事業の枠組みが固まりつつあるものと考えているところ。

夕張市をはじめとして、毎日のように現況等、この地域に住む住民の皆さんの不安、市や町の再生など、新聞などで取り上げられております。道としても、市や町と協議を進めているとのことでもありますので、実効の有る事業となるようしっかりと進めて頂きたい。

(二)次ぎに、財源見通しについて伺います。

基金の取り崩しについては、詰め作業が残されており、一括償還の後になると思われるが、12月に償還を行うための財源見通しについてはどのようなになっているのか伺います。

(答 弁) 坂口 収 産業立地局長

償還財源の見通しについてであります。

- 歌志内市及び上砂川町は12月に長期借入金の一括償還を行う予定。
- 一括償還のための財源は金融機関からの一時借入により対応することとし、金融機関との間で協議を進めているものと聞いているところ。

金融機関からの一次借り入れで対応するとの事であり、見通しも付いていると感じますので速やかに処理されるものと思っております。

(三) その後の事となりますが、18年度の収支決算について伺います。

歌志内市及び上砂川町が長期借入金の一括償還を行った場合、18年度の収支決算は、どうなる見通しなのか見解を伺います。

(答 弁) 鈴木 裕敏 産炭地域振興対策室長

18年度の収支決算についてであります。

- 歌志内市及び上砂川町におきましては、今年度決算において財政再建団体となる目安である標準財政規模の20パーセントを超える赤字が生じないよう現在、積立金の取り崩しや事務事業の見直しなどの検討を進めていると承知。
- 収支決算の見通しにつきましては、今後、財政健全化計画を策定する中で明確になっていくものと考えているところ。
- いずれにしても、今年度の収支決算については、両市町にとって厳しいものになると見込まれるところ。

財政再建団体にはならない見通しと言うことだと思いますが、いずれにしても厳しい状況であると理解いたしますが、積立金の取り崩しなど検討されているとの話でありますが、たとえば減債基金などはまだ債権等に関わるものですので理解できますが、財政調整基金などはいざというときの財源が無くなるわけで、当然財政健全化を計らなければならない事ではありますが、（あまり良い話でないが悪い時に悪いことが重なると言うことは良くある話ですので心配するのですが）災害等不慮の事態に対応するさいには道としても当然支援しなければならないと考えますのでその点も十分考慮して対応頂きたい。

(四)そこでお話に有りました、財政健全化計画について伺います。

歌志内市及び上砂川町においては、財政健全化計画を作成することであるが、持続可能な財政基盤が確立されなければならない訳ですが、どのように取り組むつもりか伺います。

(答 弁) 鈴木 裕敏 産炭地域振興対策室長

財政健全化計画についてであります。

○ 現在、両市町において、総人件費の削減や事務事業の徹底した見直し、歳入の確保といった観点から検討を行うなど、財政健全化計画の策定に取り組まれていると承知。

○ 道としては、持続可能な財政運営に向けた行財政改革に速やかに取り組まれることを基本として、年内をめどに自主的な計画を策定するよう引き続き助言してまいりたい。

先ほども申し上げたように空知産炭地に付いては連日のように報道されており、夕張市の財政再建の基本枠組み案では学校統合や市職員数の削減や給与の引き下げ、来年度のラスパ^oルス指数は64になるとのことであり、大変な状況であり一層過疎化に拍車がかかるのではと懸念いたします、

只今、答弁いただいた歌志内市及び上砂川町に於いても異常事態であり大変厳しいものになると考えます。

(五)そこで、最後の質問になりますが、産業振興策について伺います。

1市1町(歌志内市及び上砂川町)の再生を早期に図る事や財政基盤を確立させるためには税収の増加が重要であります。即ち、長期的な産業振興が不可欠であると考えます、現在、道が検討を進めている「産業振興方針」をいつまでに取りまとめるのか伺います。

(答 弁) 高橋 教一 経済部長

産業振興方針の取りまとめについてであります、
○ 道としては、「北海道石炭対策本部」に設置した「産炭地域振興対策専門部会」を中心に、市や町との連携のもと、庁内が一体となって、地域の資源や特性を活かした産炭地域の「産業振興方針」について検討しているところであり、その骨格を年内をめどに取りまとめる考え。

これまで、何点か質問を致しましたが、こうした状況を早期に打破するためには、この地域にあった産業振興方針をしっかりと打ち立て、道が指導的立場に立って早期に進める必要があります。当然こうした課題に対応するには経済部だけの問題でなく、各部署に横断的に関わる事でもありますので。最重要課題として庁内上げて事に当たって頂くことを強く申し上げ質問を終わります。